

「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」「第2きたうら保育園の存続」に関する父母連からの要望書

平成19年2月1日

草加市長 木下 博信 様

草加市保育園父母会連合会 会長 阿部 善子

貴職におかれましては、日頃より子育て施策の充実のためにご尽力いただきまして誠にありがとうございます。
また、11月に開催していただきました市長懇談会では、草加の保育についての有意義な話し合いができましたことを大変嬉しく思っております。誠にありがとうございました。特に、第2きたうら保育園の存続や家庭保育室保育料の減免につきましては、現場の声をご理解いただき前向きなご提案をいただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。

ただ一方では、さかえ・あずま保育園の建て替えに関しましては、どのように現場の意見が反映されているのかが見えてこない現状がございます。特にさかえ保育園の定員の問題は深刻です。父母連では、18年6月の「里保育所・和光みなみ保育園見学会＆園舎建て替えに関する情報交換会」をはじめ、繰り返し現場の先生方と具体的な園舎のあるべき姿について話し合ってきました。この度、その内容を要望書としてまとめ、提出させていただきます。多額の予算をつぎ込んで作られる大切な保育園です。是非とも保育園現場の声を反映させていただき、子ども・保育者・保護者の目線に立ったすばらしい園舎を作ってくださいよう心よりお願い申し上げます。

【さかえ・あずま保育園の園舎建て替えについて】

<定員>

・保育の質を保つために、草加市配置基準（0歳児3:1/1歳児5:1/2歳児6:1/3歳児15:1/4歳児20:1/5歳児25:1）に照らし、1クラスの在籍幼児は、0歳児：6人、1歳児：10人、2歳児：12人、3歳児：16人、4歳児：18人、5歳児：20人を超えないようお願いします。

<職員>

・180人以上の大規模園の場合は、職員数が大変に多くなり（みなみ保育園の場合は職員数が77人）、職員間の共通理解や把握管理が大変に難しく園長や保育士が次々に辞めるなど園の運営上大きな問題があったことが報告されています。また、在籍する子どもの数が多過ぎて、職員自身が子どもや親の顔を覚えられない現状もあるそうです。草加市の場合には、180人定員の場合には全職員数（パート保育士を含む）は何人になるのでしょうか。また、前述のような問題はどのように解決されるのでしょうか。

<時間外保育・延長保育>

・大規模園になれば、時間外保育や延長保育における保育の形態や正規職員の配置も変わってくると考えられます。180人定員の場合には、大規模加算としての正規職員やフリー保育士の数はどのようになるのでしょうか。

<子育て支援センター>

・子育て支援センターは、きたうら保育園の反省を生かして作って下さい。不審者対策の面からも、出入り口は、在籍幼児と別のものを作ってください。

<産休明け・0歳児保育・家庭保育室>

・産休明け・0歳児保育は、家庭保育室を充実すると共に、公立でも行って下さい。

特に0歳児保育は、全園での実施をお願いします。

- ・さかえ保育園で現在行っている0歳児保育を、新園舎でも行って下さい。
- ・産休明け保育を実施する場合は、きたうら保育園の反省をふまえて、0歳児室とは別の部屋にして下さい。
- ・新しい家庭保育室には、0・1・2歳児の保育経験の長い専門性の高い保育士の配置をお願いします。
- ・特に0歳児は特別な養育が必要なことから、公立保育園一家庭保育室一認可保育園との職員交流を行い（現在公立で行っている年齢別保育の研修会への参加を含む）、草加市における安全で適切な0歳児保育の実施をお願いします。
- ・家庭保育室にも、公立保育園と同じように保育料の減免措置の適用をお願いします。

<園庭やホール>

・特に雨の日の場合、180名以上の大規模園の場合には、クラス毎にホールで15分刻みで遊ぶなど適切な保育とは言い難い現状にあったようです。ホールは保育室と兼ねることなく、かつ十分に広く、きたうら保育園の反省を生かした作りになって下さい。

- ・園庭は、バルコニー・ベランダ等を含めない園庭のみの広さが、（3・4・5歳児の人数）×（最低基準以上）の広さで作って下さい。また、きたうら保育園のように130人を超える大規模園の場合には、0・1・2歳児専用の園庭も作って下さい。
- ・園庭の土壌は、水はけがよく、はだし保育に適した園庭にして下さい。
- ・ベビーカーや車椅子等が通れる通路を作って下さい。

*新きたうら保育園の園庭は水はけが大変に悪く、また次々と様々な廃材が出てくるなど大きな問題が生じています。その件についての経過報告をお願いします。

<園舎の構造>

- ・きたうら保育園の反省をふまえて、日当たりや風通しの良い構造にして下さい。
- ・園全体の床は、転んでも大きな怪我にいたらない、また、はだし保育やリズム遊びに適した材質にして下さい。
- ・鳩ヶ谷市立里保育所のような、木のぬくもりのある保育園にして下さい。

<その他>

- ・あずま保育園父母会、さかえ保育園父母会の要望に沿った、基本設計・実施設計をお願いします。
- ・基本設計・実施設計の検討チームに、保護者や現場の保育士を是非メンバーに加えて下さい。
- ・基本設計・実施設計が上がるまでの期間に、市民に公開された報告会を定期的に行ってください。
- ・現あずま保育園をそのまま残して下さい。
- ・新さかえ保育園を問題の多い大規模園にするのではなく、100人程度の適正規模の保育園を2園作ることも検討して下さい。
- ・業者選定にあたっては、内容を吟味できる「プロポーザル方式」を採用して下さい。

【第2きたうら保育園の存続について】

・第2きたうら保育園父母会の要望にそった存続及び移園をお願いいたします。

*草加市の待機児解消を考慮し、19年度は1～5歳児クラス、20年度は2～5歳児クラス、21年度は3～5歳児クラスの受入れの実施を行うのは無理なのでしょうか。☒

19年度の父母連のあり方について

国や草加市の保育制度がめまぐるしく変わる中、「自治体への交渉・陳情・請願」「市職労保育部会・学童・家庭保育室その他の諸団体との交流提携」などの活動が増えてきています。

父母連の機能を維持し、保育園職員の方々や草加市などと連携しながら草加の保育を守り発展させていくためにも、「父母連のあり方の見直し」が必要です。そこで19年度より、事務局の仕事の一部を各父母会役員の方々と共に担っていただきますよう、1月13日（土）の第2回会長会で提案させていただきました。様々な質疑・応答の後、「父母連のあり方の見直し案」が会長会で承認されました。

詳しい内容等はあらためて後日配布したいと思いますので、各父母会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちはみんなの宝！みんなで草加の保育を理解し、支え合っていきましょう！！